

下水道事業経営指標

1 『経営の健全性・効率性』

1) 経常収支比率(%)

経常収支比率とは、下水道使用料収入や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを示す指標です。100%以上の場合は収支が黒字であることを示します。

$$\text{経常収支比率} = \frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$$

2) 累積欠損金比率(%)

累積欠損金比率とは、営業収益に対する累積欠損金の状況を表す指標です。

累積欠損金とは、営業活動により生じた損失で、前年度からの繰越利益剰余金等でも補てんすることができず、複数年度に渡って累積した欠損金を指します。

$$\text{累積欠損金比率} = \frac{\text{当年度未処理欠損金}}{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}} \times 100$$

3) 流動比率(%)

流動比率とは、短期的（1年間）の債務に対する支払能力を表す指標です。100%以上の場合は1年以内に支払うべき債務に対して支払うことが可能であると判断されます。

$$\text{流動比率} = \frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$$

4) 企業債残高対事業規模比率(%)

企業債残高対事業規模比率とは、料金収入に対する企業債残高の割合を示す指標です。

$$\text{企業債残高対事業規模比率} = \frac{\text{企業債現在高合計}-\text{一般会計負担額}}{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}} \times 100$$

5) 経費回収率(%)

経費回収率とは、下水道使用料で汚水処理費をどの程度賄えているかを表した指標です。

$$\text{経費回収率} = \frac{\text{下水道使用料}}{\text{汚水処理費（公費負担分を除く）}} \times 100$$

6) 汚水処理原価(円)

汚水処理原価とは、有収水量 1m³あたりの汚水処理に要した費用であり、汚水資本費・汚水維持管理費の両方を含めた汚水処理に係るコストを示す指標です。

$$\text{汚水処理原価} = \frac{\text{汚水処理費（公費負担分を除く）}}{\text{年間有収水量}}$$

7) 施設利用率(%)

施設利用率とは、下水処理施設の一日に対応可能な処理能力に対する一日平均処理水量の割合で、施設の利用状況や適正規模を判断する指標です。

当町は、下水処理場を単独で有していないため本指標の該当はありません。

$$\text{施設利用率} = \frac{\text{晴天時一日平均処理水量}}{\text{晴天時現在処理能力}} \times 100$$

8) 水洗化率(%)

水洗化率とは、現在処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水処理している人口の割合を示す指標です。

$$\text{水洗化率} = \frac{\text{現在水洗便所設置済人口}}{\text{現在処理区域内人口}} \times 100$$

2 『老朽化の状況』

1) 有形固定資産減価償却率(%)

有形固定資産減価償却率とは、有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標です。

$$\text{有形固定資産減価償却率} = \frac{\text{有形固定資産減価償却累計額}}{\text{有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価}} \times 100$$

2) 管渠老朽化率(%)

管渠老朽化率とは、法定耐用年数（50年）を超えた管渠延長の割合を表した指標です。

$$\text{管渠老朽化率} = \frac{\text{法定耐用年数を経過した管渠延長}}{\text{管渠延長}} \times 100$$

3)管渠改善率(%)

管渠改善率とは、当該年度に更新した管渠延長の割合を表した指標です。

$$\text{管渠改善率} = \frac{\text{当該年度に更新した管渠延長}}{\text{管渠延長}} \times 100$$